

〔朱書〕
二ノ十

覚

〔朱書〕
「程村半切」

一馬何疋 但高千石二四疋宛

一人足何人 但高千石二式人半宛

右今度就 御上洛、大垣より

佐和山迄之御用、如此割

符仕候、六月廿日二江戸

出御之趣申来候間、右之

人馬御用意候而慥成

奉行御添、来廿五日より

同廿七日迄之内二不残、

大垣へ御指越可有候、

御油断被成間敷候、

若相替儀御座候者、重而

可申入候、以上、

柴山長兵衛

五月三十日

北村庄兵衛

木村清太夫

美濃国中御給人衆へ
申触候留、